

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

	コード	名 称		コード	名 称
事業名	720	数量円滑化推進事業	会計	01	一般会計
基本施策	42	持続的で個性的な農林業を実践する	款	06	農林業費
			項	01	農業費
			目	04	農業生産対策費
担当部課名	青山支所産業建設課		細目	101	生産調整推進対策事業
作成者氏名	山内 敏	連絡先	細々目	01	数量円滑化推進事業
		52-3220			

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
事業の目的	水稻生産者	生産調整目標の達成により、米価安定に資する。
本年度事業内容	各地区農家組合長の連合体である青山地域農家組合長会を活用し、生産調整計画書作成、地区別配分、実施確認を行なう。	
開始年度	平成	年度
終了年度	平成	年度
根拠法令・要綱等	米の数量調整実施要綱	

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
	人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)	事業費(B)	447	440	169
	委託料	25	25	25
	報償金	144	144	144
	その他	278	271	
合計(A+B)		1,167	1,160	889
③財源内訳(千円)	特定財源	439	440	440
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財			
	一般財源	728	720	449
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値	目標値	
		H17	H18	H19
目標達成率 * 水稻作付け目標	%	85.9	100	100

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
目標達成率	調整目標に対する達成面積の率	%	85.9 目標 (100)	100	100
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

平成16年産の米制度改革において転作という考え方から、米の価格は農家を守るという観点から作付け目標という考え方へ変わった。このため、農家主導による地域としての米生産調整という考え方に変える必要がある。このため、水稻作付けに係る事務等を農協へ移行する必要がある。さらには、これまでの転作推進という国の農政の中で、水田に復元できない農地も多く見られ、配分枠に対しコメ生産が追いつかないという状況もある。このため、集落営農の推進等により今後は農地の適正管理を強化する必要がある。

評価	必要性	4	生産調整業務をほぼ従来のとおり実施。ただし、地域別に達成度の平準化を図ったことにより、各役員の負担軽減に繋がった。より効率的な確認作業を実施することができた。	総合評価
	有効性	4		A
	達成度	4		
	効率性	4		